

広報 まき

1988

1/25

第524号

発行／新潟県春町 編集／企画課 ☎72-3131 毎月2回 10日・25日発行

台の上は難度C

漆山西保のごま回し大会

二十回、町立漆山西保
育園でごま回し大会があ
り、正月に各家庭で練習
した成果を披露。

台の上で回すのは、園
児にとっては難度Cの技
です。ひもを巻くのをさ
おぼつかない年少組を尻
目に、得意気でした。

人口 29,489 (-8)

男 14,361 (-9)

女 15,128 (+1)

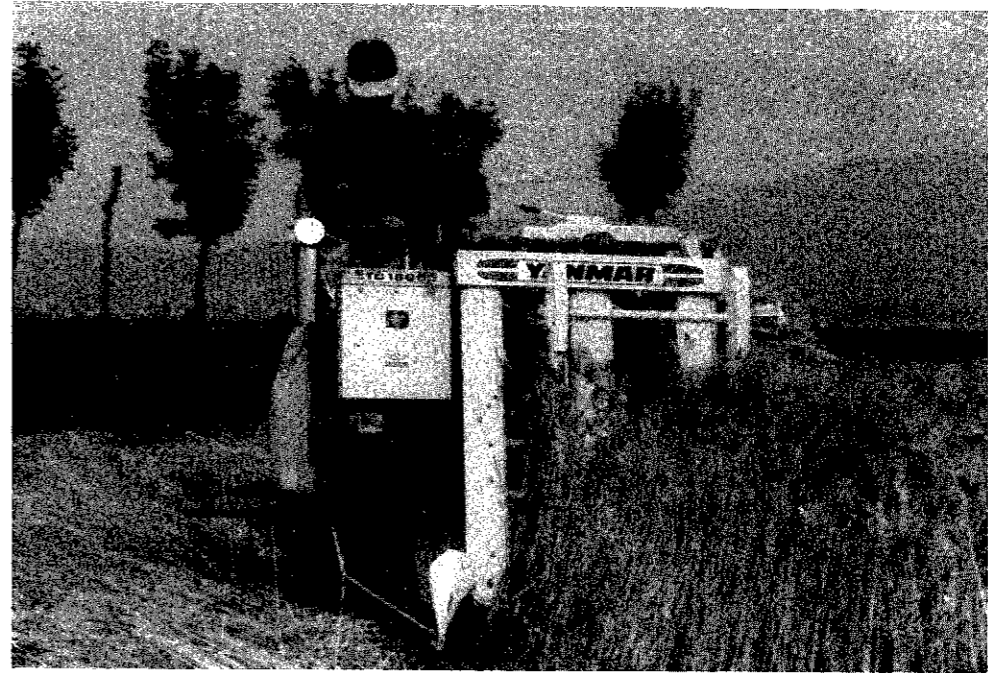
世帯数 7,745 (-4)

12月31日現在

() 内は11月末比

水田面積の22.7%減反

厳しい63年度に町全体の協力を



▲転作等面積の50.3%(62年度)を占める麦の収穫

農産物の過剰が叫ばれ、輸入自由化が外圧によって迫られている日本農業において、農政の方向づけは定まらないままです。特に、「米」問題は激しく揺れ動いています。

巻町でも農業の基幹は稲作であり、古来より蒲原平野の中心であり、穀倉地帯の一翼を担ってきました。このため、米の生産状況が農家の収入に大きく影響してきました。米の出荷数量が全農産物の販売額に対して八割以上にも達するほど重要な農産物なのです。

六十三年度は更に厳しい減反に直面し、町としては農家の皆さんにご協力をお願いするしかありません。そこで今号では、現在に至るまでの町の減反の推移と、六十三年度の対応策を説明します。

米生産調整特別対策事業

米の生産が増大する一方、消費が停滞し始めたのは昭和四十年代になってから。生産調整(減反政策)が実施されたのが四十五年頃からで、町には二百三拾が配分されました。当初は現在のような罰則がなく、生産者の自発的協力をお願いするというものでした。その年の申し出による減反実施面積は配分に対して三六%(六十九拾)に終わりました。また、翌四十六年度には四百二

十五拾の配分があり、申し出による実施は配分に対して二四%(百一拾)でした。

水田利用再編対策事業

その後、同様の傾向で推移してきましたが、政府の抱える在庫米は年々増加。この対策として五十三年度から水田利用再編対策事業が始まりました。この事業では配分された面積の一〇%完全減反実施が大前提であり、未達成の場合は翌年度に上積みするというペナルティーが設けられました。

それ以来、減反は恒常的なものであるとの受けとめ方が生じました。米の収入に見合う転作物物の導入や実施水田の集団化、団地化による効率的な土地利用と生産性の向上を考え、集落単位で生産者の協力を農協の指導を得て、以後一〇%以上の達成が続いています(右下表参照)。

水田農業確立対策事業

しかし、全国的な米過剰は改善されず、六十二年度からは水田農業確立対策事業として新たな生産調整が始まりました。この目的は米と転作物を組み合わせた複合営農を展開し、水田農業の確立を推進しようとすることにあります。しかし、この中で打ち出された転作等の面積は全国で七十七万拾

＝7年間の転作等配分と達成＝

年度	56	57	58	59	60	61	62
農委台帳面積 (ha)	2,732.9	2,697.4	2,655.0	2,656.8	2,644.7	2,604.4	2,577.6
転作等面積 (ha)	427.9	425.3	363.7	365.0	345.7	361.4	515.2
配分率 (%)	16.32	16.32	13.97	14.04	13.37	14.02	20.27
実施面積 (ha)	433.4	430.2	373.7	370.2	351.9	366.6	518.9
達成率 (%)	101.3	101.1	102.7	101.4	101.8	101.4	106.7

町では五百十五・二拾。転作率にして町の全水田面積の二〇・二七%という厳しきでした。五百十五・二拾という、町の砂丘畑地面積約四百五十拾をはるかに上回るものです。現在スイカ、メロン、大根等が栽培されている面積以上の転作をしなければなりません。

また、水田面積の二〇%にも相当することから「五年に一度は稲

作を休まなければならない」という状況に相当します。非常に大きな数字です。

米需給均衡化緊急対策

それに加えて六十三年度から米需給均衡化緊急対策として二年で六十万トンの過剰米処理が決定しました。これは、それまで転作等の目標が達成されたにもかかわらず、四年連続の豊作と消費量の減少が続き需給ギャップが拡大したことが原因です。消費、流通、生産にわたる緊急の取り組みで需給均衡を回復する必要があります。

自衛のために耐えよ

「生産者は切ないでしょうが、減反に協力してもらわないと食糧管理制度が崩れてしまい、稲作農家の基盤がなくなってしまう。これからはより多収米を少なく、良質米を多く作り、需給のバランスを図らなければなりません。目の切なさには負けないように。行政が決めたからやるのではなく、自己防衛のために耐えましょう」



高杉高松さん (巻町農協組合長)

二年間で六十万トンのうち、一年で三十万トン。これを転作等面積に換算すると、全国で五万二千拾町内で五十四拾増に相当します。六十二年度の転作等配分率が二〇・二七%、五十四拾を上積みした六十三年度は二二・七四%にもなります。二・四七%を加えた減反の面積を農家の皆さんに配分しなければなりません。

転作と消費拡大で対応

転作等目標面積の完全消化とともに転作物物の換金化も急務です。六十二年度の転作等実施内容をみ

不満だが仕方ない

「減反しないで済ませたいのはやまやまです。今の土地改良は米を作るためのもので、畑作に転換するのは難しいし、販売組織もありません。でも協力しないで一人で突っ走っても、部落や地域の他の人たちに迷惑がかかるし。不満だけれど受け入れざるを得ません。中核になるべき農家が一番困り始めてますよ」



渡邊勝藏さん (10区、37歳)

第2の石炭産業イヤ

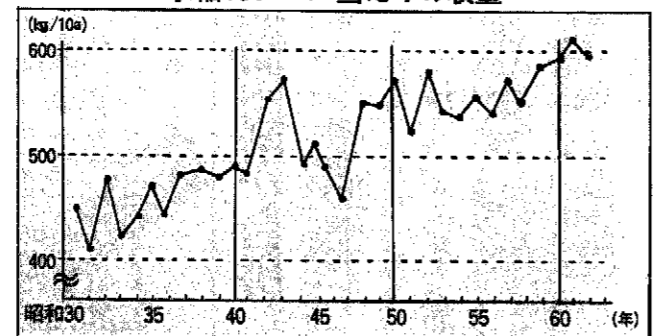
「減反で間違いなく生活が苦しくなっています。収入が減った分を農外の日雇いなどで稼がないと駄目ですが、今のところ手立てがありません。我慢も限界です。農協や行政が中心になって、第二の石炭産業にならないよう方向づけしてほしい。今後、コシヒカリでさえ余る時代も来るでしょうから、それを見越した指導もしてほしい」



小黒一ニさん (漆山7の丁、31歳)

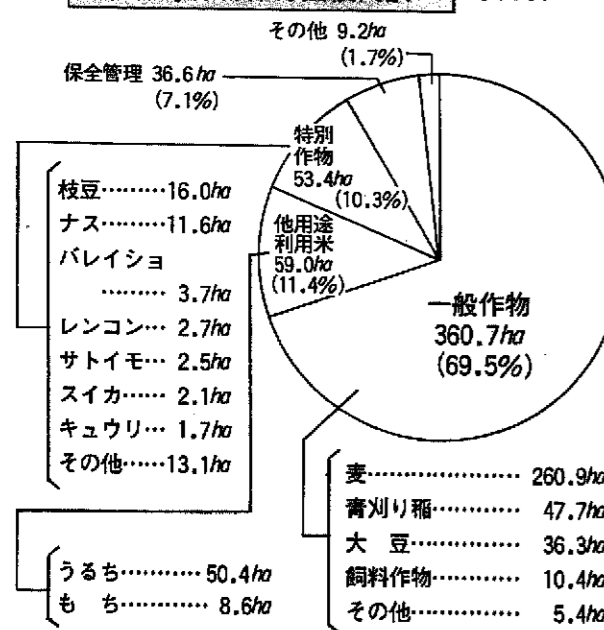
これは過去最高の三十五年度に比べると約四〇%も落ち込んでいるのです。米の消費拡大を目指して婦人団体連絡協議会や消費者協会、巻支部などの協力を得ながら、米をめぐる情勢を学んだり、米を使った料理講習会を開くなど啓発運動を続けてきました。

＝水稲10アール当たりの収量＝



62年の水稲10アール当たりの収量。61年の616kgに次いで昭和30年以来2番目に多い。西蒲、燕の平均も598kg。郡内トップは味方村607kg。

62年度 転作等作物作付面積内訳 合計 518.9ha



町の数字一口メモ

598kg



青年団は古くない 一緒に青春しよう

カウチ/ポテト/じゃがいも

去年後半から、「カウチポテト」という言葉が流行し始めています。これは、「仕事が終わってから、あるいは休日に外出しないでソファ（カウチ）に座ってポテトチップスを食べながらビデオでも見て時間を過ごす」ということ。あなたもこんな生活を送っているのでは。

一歩外に出れば、巻町連合青年団（以後、連青）がこんな活動をしています。名前だけで古くさいと判断するのは待ってください。

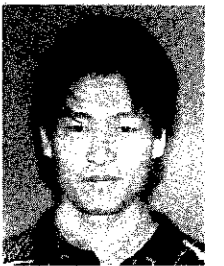
県外の仲間と友達に

まず、文化会館と共催でコンサートを実施して、水越けい子、石川優子、中村あゆみを呼びました。準備は確かにきついたので、終了後に青年団員の特権で懇親会ができます（毎回ではありません）。記念撮影もあります。もしかしら、あなたの好きなミュージシャンに会えるかもしれませんよ。次に、憧れの国立競技場や代々木体育館でスポーツできる可能性があります。青年大会がそれです。一度でもこの大会で全国大会出場したところは、同じ種目で全国へ行けませんので、いづれは出番がまわってくる計算になります。当町では既に女子バレーボールや陸上競技で全国へ行っています。



▲61年・石川優子コンサート終了後に。

ついでついでときは団結



中原正彦さん
(松野尾下組、20歳)

夜遅くまで話しこんだ



真島憲一さん
(葉萱場、40歳)

仕事ばかりの生活がいやで青年団にはいりました。楽しくていつも遊んでいるような雰囲気ですが、いざという時はビシッとまとまることのできるみたいなんです。今の若い人たちにしてみれば珍しいんじゃないでしょうか。

県外研修が一番印象に残っています。静岡、山梨、茨城と三度行きました。当時、酒はあまり飲みませんでした。夜遅くまで話しこんだもので、集まるのが楽しみでした。あのころの仲間とは今でもいい友達ですね。

さまざまな活動をしています。しかし、何とんでも日ごろから年齢を超えて職業を超えて語り合える機会がもてるというのが一番大きな魅力です。自分を磨くことができるチャンスです。

巻町農協と福木岡農協が合併

2月1日、県内9番目の規模に

二月一日、巻町農協（高杉高松組合長、正組合員戸数二千七十一戸）と福木岡農協（大原市平組合長、正組合員戸数二百十戸）が対等合併し、新しい巻町農協が発足します。福木岡農協の事務所は巻町農協福木岡支所として業務を開始します。

日光に当たり過ぎない

紫外線から皮膚を保護

日光の中の紫外線には細胞の突然変異を起こす性質があり、皮膚に有害であるといわれています。紫外線で焼けた肌は一種のやけどの状態にあり、細胞中の遺伝子が傷つき、がんになる危険性も高くなります。

人種的に見ると、白人に比べて日本人はメラニン色素が多いため紫外線に対して抵抗力があり、皮膚がんや悪性黒色腫は、それ程多くありません。しかし、海や山で直射日光を長時間浴びて肌を褐色に焼くことはなるべく避けてください。

さい。日焼け止めクリームなどで肌を保護し、火ぶくれにならないよう注意することが大切です。

※注 メラニン色素は皮膚にある黒い色素のこと。日光の刺激を防ぐ働きをもつ。

がん予防の12か条 その10

めぐみ保育園 炭火で焼きもち

正月気分も薄れてきた二十二日、めぐみ保育園では大きな火鉢の炭火でもちを焼いて食べました。直火で焼くのであつという間に膨れ、園児はキャッキョと大騒ぎ。もちの焼き方一つでも時代の移り変わりがあることを教えたい、と園長先生。もう二十年も続いています。



あなたの周りの話題、情報をお待ちしています。

写真ニュース
企画課広報係

心をつなげる方法が学べる

体・ス指導者研修会



二十日から公民館で、体育・スポーツ指導者研修会が開かれ、小学校の先生、保母、子供会指導者など三十人が参加。講師の佐藤ユリ子さん（湯東南保育園長）から心をつなげる高めさせる指導方法のいろはを学びました。実技を通じた研修会で、夜の巻町公民館は楽しそうに歓声に包まれました。

配偶者特別控除

62年分所得税から適用

六十二年分の所得税から適用になります。合計所得金額が八百万円以下の納税者に生計を一にする

配偶者がいる場合が該当します。ただし、配偶者が次の①②③までの場合を除きます。

- ①他の納税者の扶養家族とされる
- ②青色専従者として給与の支払いを受けている
- ③白色事業専従者である

①②③以外の場合、その配偶者の所得額に応じて、納税者の所得金額から控除されます。詳しくは巻税務署 ☎2355 へお尋ねください。

町づくりに 関する アンケート 調査にご協力 ください。

二月中旬に町民の皆さんの町づくりに関する意見を聞くためにアンケート調査をします。この結果を第三次巻町総合計画の参考に

町職員人事発令

二月一日付けで昇任人事の発令がありました。（十日号に追加）
◆主査（係長級） 石添美枝子
（町立病院医事課）

なじらね まき 18

音のなさがこたえます

堀山団地 岡島 きし子さん
(東京都中野区出身)



岡島きし子さん(三十一歳)は東京都中野区出身、六十年三月に嫁いできました。ご主人は与志秀さん(三十歳、自営業)で、愛ちゃん(一歳)も人見知りせずによく育っています。

「故郷の様子を教えてください。」「中野区弥生町という所で、新宿副都心まで歩いて七、八分。渋谷にも近い都会のど真ん中です。神田川が近くに流れ、一歩路地裏は下町情緒があります。」

「ご主人とのなれ初めは。」

「大学の同級生で、三年のとき同じゼミだったのがきっかけです。気がついたらそばにいた、という感じですね。私と主人は価値観が似ていて、考え方に共鳴できるんです。第一印象では、いい人そうだと思います。第二印象では、いい人そうだと思います。主人は私を「女性にしてはさっぱりして話しやすそうだ」と思ったそうです。」

「今の仕事は何ですか。」

「町内の塾で、小・中学生に英語と数学を教えています。日曜を除く毎日、夜は九時まで。今は中三が受験間近で張りつめています。大都会から田舎へ来たことで」



▲愛ちゃんと一緒に。

何かギャップはありましたか。

「騒音というか、にぎやかさの中で暮らしていたので、音のなさはこたえますね。あと夜が早いんですね。商店街も七時にはしまるし。冬が暗く、どんよりしているのが東京の晴れた空が恋しい時もあります。でも仕事のせいとか、町の規模の割には、塾が多いように思います。東京でも塾の講師をしています。東京でも塾も子もまだのんびりしているようです。」

「町への要望をどうぞ。」

「道路の狭さと一方通行の煩わしさをどうにかしてほしいのと、商店街にもっと活気を持たせてほしいですね。郡都といっても官庁がそろっているだけで。何か一つ表に示せるものがあればいいと思います。」

塾の子供たちが岡島さんに、「このコーナーに出たら」とよく言っていたそうで、今回の登場には大喜びとのこと。「私、結構順応性があるので、言葉や習慣の違いにはすぐ慣れるんです。行動力がありそうな、しっかりママさん。」

図書 寄贈

- 公民館図書に
- 岡村太計雄さん (赤館) 「昭和日本史」全十巻
- 川村豊作さん

- 二巻、他二百一冊
- 大越嘉一さん(三区) 「山手樹一郎集」他四十一冊
- 郷土資料館に
- 佐藤静さん(東六区) 「日本仏教における戒律の研究」他宗教関係の専門書四百八十七冊

善意

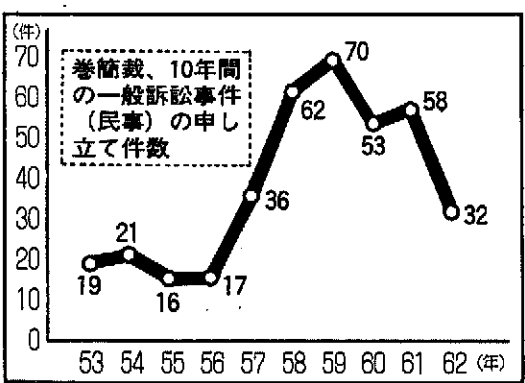
野澤亀太郎さん(十一区)から社会福祉に役立ててほしいと、ご寄付をいただきました。

巻簡易裁判所、4月で廃止

取り扱い件数が全国の6分の1

黒埼町と分水町を除く西蒲原郡を管轄していた巻簡易裁判所が四月三十日限りで廃止され、五月から新潟簡易裁判所の管轄区域に編入されることになりました。巻簡易裁判所管内の事件は新潟簡易裁判所で取り扱うこととなります。巻簡易裁判所が取り扱った民事事件数は下グラフの通りです。昭和五十五年度から五十九年度の平均数(民事、調停、刑事)は、全国簡裁一庁当たりの平均に比べて約六分の一に過ぎませんでした。

なお、簡易裁判所は、争いの目的が九十万円以下の少額の民事訴訟事件、罰金で処罰されるような比較的軽い刑事訴訟事件、民事の争いを話し合いで解決する調停事件等を取り扱う裁判所です。



● 昭和二十二年五月 設立(新潟簡易裁判所内で執務)

● 二十三年六月 新潟司法事務所(現新潟地方事務局)巻出張所庁舎の一部に移転

● 二十五年十二月 一区の現在地に移転

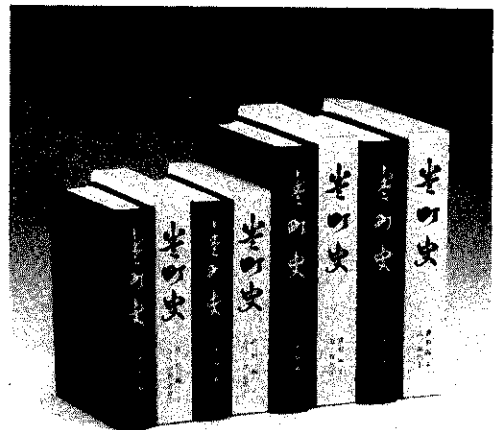
まきお知世 1988.1.25 No.69

発行/新潟県巻町 編集/企画課 ☎72-3131 毎月2回 10日・25日発行

町史 いよいよ刊行 まず資料編2巻

古代・中世・近世(I)、近・現代(I)

予約募集、2月末までに



：A5判八百ページ、五千五百円

◆資料編4 近・現代(I)(新聞資料編)：B5判九百ページ、五千円

いずれも、丸背金文字、高級布クロス装、上製本、ビニールカバー付、ケース入り。

締め切り 二月末日

申し込み方法(支払い方法)

◆町内の人：①予約募集添付のながきに記入し区長さんを通して申し込み(配本時区長さんを通して)

「のぞきからくり」解説書

郷土資料館目録十集

巻町郷土資料館目録第十集「のぞきからくり」その構造と機能が刊行になりました。

日本で保存が確認されているのがわずか三台しかない「のぞきからくり」のうち、最も状態のよい

ものが当町にあります。その歴史や構造から台本(八

百屋お七、幽霊の継子いじめ)までを分かりやすく説明した冊子です(A5判十七

ページ)。一冊四百円で

販売します。希望者は資料

館☎726757に申し込んで

ください。

63年度以降の刊行予定

年度	書名	規格	頁数
昭和63年度	資料編1 考古	B5判	650
	資料編3 近世(Ⅲ)	A5判	800
昭和64年度	資料編5 近・現代(Ⅲ)	A5判	800
	資料編6 民俗	A5判	800
昭和65年度	通史編上 原始・古代・中世・近世	A5判	800
	通史編下 近・現代	A5判	800

支払い①、②直接役場企画課へ申し込み(支払いは直接企画課へ)
◆町外の人：予約募集添付のながきに記入し、切手を張ってポストへ(配本時に同封する振込用紙で支払い)

児童手当認定 申請お忘れなく

昭和六十一年度からの児童手当法改正により、二人以上の児童を育てている人に児童手当が支給されることになり、現在、段階的に実施されています。今年四月一日からは、小学校入学前の児童を含む十八歳未満の児童を二人以上育てている人で収入が一定額未満の場合に、二番目の児童から支給されます。

これに伴い、新たに支給対象になる人は、昭和五十七年四月二日から五十八年四月一日までに生まれた二人目の児童を育てている人です。該当する人は、三月三十一日までに届出をしてください。詳しくは役場社会課福祉係でお尋ねください。

のぞきからくり

—その構造と機能—



1988.1

巻町郷土資料館

今月の納税

町民の皆様、納税の期が近づいてまいりました。納税の期は、毎月10日です。お忘れなく、お納めください。




町民生活カレンダー

○=時間
↑=会場
◎=対象者
▽=参加費

1~15日 英語でFebruary (フェブアリー) 月異名一如月(きさらぎ) 誕生石-アメジスト

※立春...二十四節季の二。暦の上で春ははじまる日。

1月	●納期限 (国民健康保険税第5期、町民税第4期) ●巻町農協と福木岡農協が合併	9火	●町立病院小児科午後休診 ●健康づくり教室◎越前浜◎9:30~15:00◎越前浜分館
2火	●健康づくり教室◎四ツ郷屋◎9:30~15:00◎四ツ郷屋分館	10水	
3水	●節分 ●献血◎10:00~15:00◎巻工高	11木	※建国記念の日 ●休日救急当番医 [外科] 町立病院◎73111 [内科] 大越医院◎72707
4木	●立春 ●心配ごと相談◎10:00~15:00◎役場1階相談室 ●献血◎10:00~15:00◎巻工高	12金	●消費生活苦情相談◎13:30~15:30◎役場1階相談室
5金	●健康づくり教室◎稲島、伏部◎9:30~15:00◎稲島分館	13土	●健康相談◎9:00~11:30◎役場1階相談室
6土		14日	●聖バレンタインデー ●休日救急当番医 [外科] 竹前医院◎72809 [内科] 刈部医院 (西川町) ◎82057 ●休日営業スタンド樋口石油巻インター、長島石油店国道、青柳石油巻
7日	●休日救急当番医 [外科] 県立吉田病院◎25111 [内科] 金子医院◎28030 ●休日営業スタンド樋口商店巻、加藤油店巻、青柳石油巻、巻町農協福木岡 ●町民スキー教室	15月	
8月		 町からのお知らせはテレホンガイドで。巻町の民話、も聞けます。 (73)-3600	

確かめよう 最低賃金

1日 **3,546円**
1時間 **444円**

新潟労働基準局
☎025-266-4161
労働基準監督署



特養老人ホーム名称募集

昭和六十四年四月、吉田町に開所予定の特別養護老人ホームの施設名を募集します。

申し込み ハガキに施設名、住所氏名、電話番号を記入して、六十二年二月十日までに〒959-02吉田町日之出町吉田町役場厚生課まで、なお、選ばれた人には記念品を差し上げます。

訓練生募集

身体障害者職業訓練校
国立石川身体障害者職業訓練校 (石川県野々市町) では、六十二年度訓練生を募集しています。

募集科目と定員 製版印刷科、電子機器科、陶磁器科 (以上、各二十人)、一般事務科、トレース科、洋裁科洋裁コース、同縫製コース (以上、各十人)

訓練期間 一年間
願書の請求と提出先 巻公共職業定安所 (東六区)
締め切り 三月十九日 (土) (ただし、願書提出者より随時面接、定員になり次第締め切り)
詳しくは巻職安 ☎73155へ。

たばこ消費税は暮らしの中に生かされています

町内のたばこ屋さんで売られたたばこ1箱 (20本入り) につき41円が町の収入になります。1年間で約1億2,000万円。町の貴重な財源です。

●たばこは地元で買しましょう。

